

## (2) 施策の方針

第4章 健やかで心豊かに暮らせるまち  
分野(6) スポーツ・レクリエーション

# 施策の方針② スポーツ施設の整備

<目標とすべきまちの姿>

市民ニーズの高いスポーツ施設が整備され、民間のノウハウも生かした幅広い施設運営により、市民のスポーツ活動が充足されています。

## 1 事業評価結果一覧表

市民活動部

評価対象事業名		決算値 (千円)	総事業費 (千円)	26年度 職員数 (人)	今後の方向性	
整理番号	事業名				事業内容	予算規模
市民-36	体育施設整備事業	233	988	0.1	b	b

## 2 平成26年度末の目標

市民活動部

本市のスポーツ施設の設置数は、同規模の地方公共団体と比較すると不足しており、十分な規模を有するスポーツ施設がないため、鎌倉市公共施設再編計画の策定に合わせスポーツ施設整備の検討を進めるとともに既存施設の上部利用の検討を進める。  
深沢地域整備事業による総合体育館及びグラウンド整備に向けて引き続き関係課等と協議・調整を進める。

## 3 平成26年度の取組の評価

市民活動部

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 要改善

深沢地域整備事業において、総合体育館・グラウンドを導入施設として位置付けられるよう引き続き要望するとともに、他のスポーツ施設について既存施設の上部利用の検討を行った。  
老朽化した海浜公園水泳プールは既存施設のまま運営を継続するとともに、鎌倉市公共施設再編計画の策定の中で施設の複合化や民間活力の導入を視野に入れた整備について検討を行なった。

## 4 今後の方向性

市民活動部

競技スポーツの推進を図るため、公式競技の開催が可能な施設の整備の実現に努めるとともに、整備にあたってはPFI等民間活力の導入や、施設の複合化等について検討する。  
既存のスポーツ施設をより利用しやすくするため、鎌倉市公共施設再編計画との整合性をとりながら施設の改修や設備の導入又は更新を検討する。  
民間施設の借用・県や他市町との広域利用も含め、市民が気軽にスポーツを楽しめる環境を整備する。

## 5 平成27年度末の目標

市民活動部

山崎浄化センター西側建物の上部利用による検討及び基本設計を行うとともに、深沢地域整備事業における総合体育館及びグラウンドの整備に向けて引き続き関係課等と協議・調整を進める。

## 鎌倉市民評価委員会の評価

### 1 評価できるところ

- ・「深沢多目的スポーツ広場の代替地確保」に向け、調整及び基金運用を実施した。
- ・開放利用は市民交流、スポーツ促進に役立っており、重要な施策である。現在利用している開放施設の整備を行い、スポーツ施設を現状維持できるように努めてほしい。

### 2 課題・提言

- ・新施設については、多目的利用を勘案のうえ、整備願いたい。
- ・新たなスポーツ施設整備への場所の確保が困難であるのは理解できるが、近隣に比べて少なく、既存施設も利用し難くなっている。人工芝グラウンド設置などの稼働率を上げる施策も必要である。
- ・まちづくり計画、公共施設再編計画に積極的に参加することが必要である。